

Genius English Course I, II Revised

- ■英語 I Lesson 2 Jamie Oliver — “The Naked Chef”
- ■英語 I Lesson 5 Easy Japanese
- ■英語 II Lesson 6 Fighting for Green



■英語 I Lesson 2

カリスマ・シェフから社会活動家へ

90年代末にイギリス料理界に颯爽と登場したカリスマ・シェフ、ジェイミー・オリバーは、その若さと甘い風貌から、日本を含む多くの国々でアイドルの人気を誇った。けれども、今の彼はむしろ社会活動家と呼ぶ方がふさわしい人物かもしれない。

1975年生まれのジェイミーは今年35歳。売り出した頃に比べ、ルックスにかなり貫禄がついたが、3女の父でもある彼は、日本でいうところの「食育」にここ数年、熱心に取り組んでいる。彼がロンドンの学校給食改善に奔走した様子を収めたテレビ番組 *Jamie's School Dinners* (2005年。日本では2006年に『ジェイミー・オリバーの給食革命!』というタイトルで WOWWOW で放送) の影響は大きく、世論の後押しも受けて、イギリスの給食改革を前進させた。

給食改革の試みを通じて、「イギリスの子どもたちは家庭でもひどい食事を与えられている」と痛感したジェイミーは、2008年から *Jamie's Ministry of Food* というテレビ番組を始めている。現在も展開中のこの番組は、インスタント食品や持ち帰り料理に慣れ親しんだ人々に自分で作って食べる習慣を取り戻させることを目指したものだ。幼い時からジャンクフードで育った人々に対し、ジェイミーは料理の楽しさ、そして簡単においしく健康に良い食事が作れる方法を広めようと奮闘している。100以上のレシピを収めた番組と同名の本は、ジェイミーの著書の中でもトップ

セールスを記録したという。ジェイミーの活動は、子どもたちにとどまらず、もはやイギリス人全体への「食育」といえ、彼の熱意が多くの人をよりよい食生活へと動かす原動力になっているといえるだろう。

「給食革命」はアメリカへ

ジェイミーの「給食革命」は、ジャンクフード社会ということではイギリスより重症といえるアメリカへと進出した。2009年に始まったテレビ番組 *Jamie Oliver's Food Revolution* では、ウエスト・ヴァージニア州 Huntington (アメリカで最も不健康な街という不名誉なランキングを得ている) で、学校給食のみならず、家庭、企業、レストランでの食事を改善していこうという試みに挑戦している。ジェイミーのアメリカでの体験は、*Jamie's America* という本にまとめられた。

ジェイミーはこのプロジェクトにより、2010年の TED (Technology Entertainment Design) Prize を受賞している。TED は、BMW や Google などの大企業がスポンサーとなり、カリフォルニア州モントレイで年一回講演会を主催しているグループだが、その受賞者にはクリントン元大統領、ミュージシャンのボノの他、著名な学者や社会活動家などが選ばれており、受賞スピーチはネット配信されている。

慈善目的のレストランが成功

恵まれない青少年に職業訓練の機会を与えようと、ジェイミーが2002年にオープンしたレストラ

ン fifteen は、当初の大方の予想を裏切り、阿姆斯特ダムやメルボルンなど国外も含む4店舗を展開し、ビジネスとしても成功を収めている。

ジェイミーは2009年春にロンドンで行われたG20の晩餐会を任されたが、その時、彼の指揮の下で動いたのは、fifteen 出身のスタッフたちだった。ちなみに、その時にジェイミーが作ったメニューには、北ウェールズ産のラムやシェットランド産オーガニックサーモンをはじめ、イギリス産の食材をふんだんに使った料理が並んだ。ジェイミーが得意とするエスニックや他のヨーロッパ料理とのフュージョンではなく、ラムのローストやカスタードクリームを添えたタルトなど、伝統的なイギリス料理の趣で、意外だという反応もあったと聞く。

雑誌発刊や料理教室の展開も

fifteen 以外に、2008年には Jamie's Italian というレストランをオープンさせ、既存の8店舗に加え、2010年5月までに3店舗が新規に開業するという盛況である。Jamie's Italian のコンセプトは、ジェイミーが愛してやまないイタリア料理を気軽に楽しめるといったものだ。

2008年には隔月刊の雑誌 *Jamie Magazine* を発刊した。誌面はフルカラーで、レシピや食にまつわる旅行ページ、インタビューなど、まさにジェイミーの世界をじっくり、たっぷり味わえる。創刊号は約7万5千部を売り上げたというが、日本では下火になったジェイミー人気も、イギリスではまだまだ健在のようだ。

12冊の著書を出版し、テレビ番組に次々と出演し、いくつもの社会的プロジェクトを立ち上げ、雑誌を主宰し、多くのレストランを運営し、他にも料理教室やケータリング、グッズ販売など色々と事業展開中というジェイミーの八面六臂ぶりは、まさに驚異的である。彼の活躍から、これからも目が離せない。

かとうひろこ
(加藤裕子・生活文化ジャーナリスト)

■英語 I Lesson 5

“Easy Japanese”をよりよく知るために

2010年の1月17日で、阪神淡路大震災からまる15年になりました。英語教科書 *Genius* のレッスン5で扱われている Easy Japanese (以下「やさしい日本語」) ですが、この研究は災害下で困窮する外国人対策として、15年前のこの日を切っ掛けに始められました。きょうは、この「やさしい日本語」研究の最新事情についてお話します。

「やさしい日本語」の単元が *Genius* で扱われるようになって8年になります。この間、いろいろな高校の先生や生徒さんから質問をいただきました。この単元が単なる英語の授業に終わらず、多文化共生や情報伝達法の教材としても役立てていただいていることを知り、嬉しく思っています。よくいただく質問は研究室のホームページ(以下 HP) に Q&A 形式でまとめましたのでご覧下さい。HP へは検索エンジンで「やさしい日本語」と入力ください。「やさしい日本語」の考え方や有効性などについて、日本人以外の皆さんにも理解してもらえよう、英語と中国語、ハンブルで紹介しているページもありますので、補助教材としても使っていただけます。

「やさしい日本語」の社会適応ということ

さて、この研究はことばを専門にする研究者や学生たちによって、災害下での外国人被災者の心の負担を軽減するために始められました。的確な情報が得られると、非常時であっても人間はパニックを起こすことなく、冷静に行動できるからです。それでは日本に住む世界各地からの外国人被災者に緊急性の高い情報をどの国の言語で伝えることが望ましいのでしょうか。しかも迅速に伝えねばなりません。その答が「やさしい日本語」でした。理由と事情については教科書に詳しく書かれていますので、ここでは省略します。

この研究が10年を迎える辺りから、外国人に災害情報を伝えようとする行政やボランティアの皆

さんの理解が大きく増しました。その一例が災害時要援護者支援マニュアルや地域防災計画といった緊急時に外国人を支援するマニュアルに「やさしい日本語」で伝えることを盛り込んだ自治体が増えたことです。「あらかじめ外国人に理解できる言語及び『やさしい日本語』、または絵カード等を準備する」や「外国人が居住する地域や外国人観光客の多い地域については、防災行政無線に多言語情報を追加したり、『やさしい日本語』を使用したりすることが必要である」のようになります。新潟県中越地震の際、現地に外国人支援で入った皆さんに役立てていただけたことも切っ掛けになったかと思います。

一方で「やさしい日本語」での情報提供を決めた自治体からは、「やさしい日本語」化の手順や規則、具体的な表現のしかたを学びたいとの要望が多く寄せられました。そういった要望に答えるべく、2010年1月17日を目標に、「やさしい日本語」化の方法を記したガイドライン作りを進めてきました。このガイドラインも研究室のHPからダウンロードできます。ぜひご活用ください。

「やさしい日本語」化の方法と「伝える力」

新学習指導要領にある「伝える力」にも関連します。的確な情報はどうすれば相手に伝わるのかをガイドラインから抜き出してみます。

一つ目は的確な情報を選択することです。災害が起きたとき、外国人被災者に伝えねばならない情報は何かを考えます。限られた約2000の語を組みあわせて、24拍10文節程度の文を作ります。そうすると、日本に来て1年前後の外国人であっても、漢字圏、非漢字圏を問わずに情報がよく伝わります。統計学的にも検証できました。

そのようにして作られた文なので、必然的に単文となります。伝えられる情報の数も一文一情報です。結果として、情報を伝える側は相手に伝えねばならない情報は何かを吟味していることになります。わかりにくい表現は、往々にして一文の

中に複数の情報が入り混じったり、文頭と文末の表現が一致しないために生じます。単文にすることで、その問題を防ぐことができます。

さらに、カタカナ外来語、「使えないことはない」などの二重の否定表現、「おそらく」や「たぶん」といった曖昧な表現を使ってははいないか。漢字の使用量は1文当たり3・4字程度か、全ての漢字にルビは振ってあるかなど、掲示物のための書きことばと防災無線などで放送する際の読みことばのそれぞれについて細かく規則化しました。

「やさしい日本語」文を作ってみる

練習問題を用意しましたので「やさしい日本語」文を作ってみましょう。「地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている建物には近づかないようにするなど、余震に対して十分に注意して欲しいと呼びかけています」。これは通常の注意を喚起する放送文です。まず①重要度が高い情報を抜き出します。伝えるべき情報は「建物に近づかせない」と「余震に注意させる」ことです。つぎに②「余震」や「亀裂」のような難しいことばを簡単な言い方にします。③日本語能力試験の3・4級語彙だけで表現します。こういった規則に従って「やさしい日本語」文にしてみると、「地震でこわれた建物に行かないでください(5文節22拍)」「あとから来る地震に気をつけてください(5文節19拍)」となります。

外国人被災者に「やさしい日本語」を使うことが、すなわち外国語を排斥するというものではありません。災害対策本部から伝えられる情報には日本人にも難解な表現があります。それを複数の外国語に翻訳するとき、一度「やさしい日本語」に言い替え、その上で各国語に翻訳すると曖昧性のない、しかも単文の日本語ですから、翻訳もそのための時間もずっと効率的に使うことができます。「やさしい日本語」は多言語化する上でもプラスワンの役割を果たすと考えています。

（佐藤和之・弘前大学教授）

■英語II Lesson 6

地球の緑を守る世界的な取り組みについて扱っている課です。その中でイギリスの王立植物園が行っている世界中の植物の種子を集めて保存するという活動のその後を紹介します。ここに掲載したものは、2009年10月15日に行われたイギリス王立植物園の記者発表 (http://www.kew.org/press/musa_itinerans.html) の抜粋です。

目標の達成

Kew's Millennium Seed Bank partnership, founded and led by the UK's Royal Botanic Gardens, Kew is celebrating collecting, banking and conserving 10% of the world's wild plant species by banking its 24,200th species — a pink, wild banana from China which is an important staple for wild Asian elephants. It is also a crop wild relative that is a valuable genetic resource for breeding new varieties of banana with disease resistance to ensure the continued cultivation of bananas in the future.

(Kew's Millennium Seed Bank ではこれまでに全世界の植物の10%にあたる、24,200種類の植物の種子を保存することに成功した。24,200番目の植物は中国のピンクバナナ (=通称雲南バナナ。ピンクあるいは薄紫色で、アジアゾウを始めとして熱帯ジャングルに暮らす動物たちの貴重な食料となっている。花や茎は中国南西部の地元のレストランでよく見られる) であった。)

次なる目標

The 10% target was set in 2000 when Kew's Millennium Seed Bank partnership was formed — and while this accomplishment is being celebrated today, a new target looms — collecting and banking a quarter of the world's plants by 2020.

(10%という目標は2000年に設定されたもので

ある。次なる目標は2020年までに全世界の4分の1の植物の種子を集めることである。)

次世代への展望

The next phase of Kew's Millennium Seed Bank partnership will run from 2010 to 2020 and will focus on threats to human wellbeing — food security, sustainable energy, loss of biodiversity and climate change — by safeguarding wild plant diversity and enabling its use.

(中略)

Kew's Millennium Seed Bank partnership will continue to focus on those parts of the world which are home to some of the world's poorest people and where plant diversity is tightly bound to people's livelihoods. It will also continue to work with mega-diverse countries such as Madagascar, South Africa, Mexico and China. Collection projects will prioritise species from alpine, dryland, coastal and island ecosystems, which research show, are most vulnerable to climate change.

(世界の食糧問題, エネルギー問題なども鑑みて、植物の多様性の保持のために、Kew's Millennium Seed Bank ではこれからも世界中の植物の種子を集めていく。特に貧困国に焦点を当てていきたい。)

* * *

地球の温暖化は着実に進んでいます。そしてそれを止めるには、植物の力に頼るのも一つの方法です。Kew's Millennium Seed Bank partnership は、現在世界50か国以上で活動中です。植物の種子を保存していくことで、未来の環境保護を見据えているのです。

(編集部)